

あ全県下全国へ！これで第三波は

協販部先頭に、1,100名全員が協販運動推進者

動労千葉

86. 5. 20

No. 2244

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七）

五月十四日、動力車会館において、物資販売担当者会議が開催され、動労千葉がこれからも闘い続けるうえでの財政面と闘いのさらなる全国的な広がりをつくることを目的に、全支部及び組合員一人一人が全力で物資販売活動を取り組むことを参加者全員で確認し、この日を期して物資販売活動に突入した。

二波の闘いに確信をもち 三波・四波の闘いへ

十時過ぎより開催された会議は、白井協販部員が司会をすすめるなか、冒頭、山口副委員長より「官公労としては初めての『争議団』というかたちになるが、闘うために絶対に成功させよう」とのあいさつを受け議題へと入っていきました。午前中は布施書記長より、とりまく国内情勢・国鉄情勢が提起されました。

東京サミットの破産による日帝・中曽根の危機の深まり、4・29―5・4に示されたように、動労千葉破壊のためなら列車を止め、乗客をも無視する当局の反動性・権力―資本の側に完全に階級移行し、十万人首切りの先兵になった動労革マル・松崎の裏切りと「真国労」のデッチ上げの狙いなどが全面的に展開され、動労千葉の闘いの正義性・勝利性を全体で確認しました。

運動も財政も自らの手で！

午後の部は最初に、協販部部員の自己紹介の後、片岡協販部長より、物資販売の意義と販売オルグ上の心得、支部担当が明らかにされました。

この物資販売は、動労千葉が第三波・第四波闘争を展望した時に、最も重要な財政面を支えるうえでかかすことのできないものであり、さらに、この運動を通じて「分割・民営化」―十万人首切りの反動性、これに対する動労千葉の闘いと正義性を県下および全国の労働者に訴え理解と協力を求めるものであります。そ

して、動労千葉の運動を拡大するためにも全力で組合員一人一人が取り組むことを参加者全員で確認し、本日をもって物資販売活動に突入することが全体のものとされ、会議は終了しました。

まず家族・友人・知人から！

四月中旬より、協販部プロジェクトを中心にしてポスターの写真撮影、書類の作成、業者との取り引き、品物の選定まで独自でやりぬき、いよいよ具体的に各労組への物資販売オルグが開始されます。組合員は、家族・知人・友人等、あらゆる人に物資の販売を訴え、動労千葉の闘いを自らが担いきらうではありませんか！

協販物品
ご紹介
シリーズ
その1

ゲゲゲの鬼太郎
サマーセット
¥1,500

バスタオル
¥1,500

夏の風物詩、海山の必需品、お子様にどうぞ！

お買得
セット
¥500

箱入セット
¥1,000

花火
¥2,000
（徳用）
お徳用セット

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！